INAX

シャワートイレU3E

CW-811E型 CW-810E型

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
シャワートイレの施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ヤケドやけがをしたり、故障・損害の恐れがあります。

給湯管に荷重を加えたり、衝撃を与えないでください。
※熱湯が噴出してヤケドの原因になります。

ストレーナーの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めて行ってください。
※止水栓を閉めないと、熱湯が噴出してヤケドをします。

止水栓の分岐口フタを、緩めたり外したりしないでください。
※熱湯が噴出してヤケドをします。

施工前のご注意

■シャワートイレU3E対応表

シャワートイレU3Eを取り付けることが可能なユニットバスと使用便器は、以下のとおりです。

ユニット品番	旧ユニット品番	使用便器品番	U3E品番	備考
BLCP-1624TAWA	BLCP-1624TAG2	C-25SCU	CW-810E	
BLCP-1620TAWA	BLCP-1620TAG3			
BLCP-1620TAWB	BLCP-1620TAG2			
BLCP-1420TAWB	BLCP-1420TAG2			
BLCP-1418TAWB	BLCP-1418TAG2			
BLCP-1620TAWC	BLCP-1620TAU2	C-40	CW-811E	
BLCP-1418TAWC	BLCP-1418TAU2			
BLCP-1218TAWC	BLCP-1218TAU2			
BLCP-1418TAZD	—	C-13	CW-810E	便座交換の場合では、洗面台がU3E操作ダイアルの上方に来るため、操作性に影響が出ます。事前にお客さまのご了承が必要です。
BLCP-1218TAZD	—			
BLCP-1216TAZD	BLCP-1216TAWD			
	BLCP-1216TAS3			
BLCP-1116TAZD	BLCP-1116TAWD			
	BLCP-1116TAS3			
—	BLCH-1216TAWD			
	BLCH-1216TAS			
—	BLCH-1116TAWD			
	BLCH-1116TAS			
BLCP-1418SBZD	—			
BLCP-1218SBZD	—			
BLCP-1216SBZD	—			
BLCP-1116SBZD	—			
BLCH-1216SBWD	BLCH-1216SBS			
BLCH-1116SBWD	BLCH-1116BS			
BLCP-1216TBZE		C-13	CW-810E	新規現場のみ対応（便座交換の場合は不可）
BLCP-1116TBZE				
BLCH-1216SBWE				
BLCH-1116SBWE				
—	—	NC-99UB	CW-811E	

ユニットバス側の工事内容、配管引き出し位置については、該当ユニットバスの「施工説明書」を参照してください。

■給水管、給湯管の接続は？

付属の給水（湯）管は1.35mです。給水取出位置は給水接続部から1m以内です。
※梱包された給水（湯）管の長さが足りない場合は、別売の接続銅管[300-115(2000)](2m)を使用してください。

■水圧・水質・給湯温度は？

給湯圧は、必ず給水圧以下に設定してください。（但し圧力差は、0.147MPa {1.5kgf/cm²} 以内）
給湯圧が高い場合は、減圧弁等で適正な圧力まで下げてください。
給湯圧が給水圧より高いと、事故につながる恐れがあります。

(1) 給水（給湯）圧力は0.059MPa {0.6kgf/cm²} 以上必要です。0.059MPa以下では満足な洗浄シャワーが得られません。
(2) 給水および給湯は必ず上水道に接続してください。
※水に不純物が多く含まれていると、機械部品の耐久性が低下します。（海岸近くの井戸水には塩素イオン、硫酸イオン、浮遊物が特に多く含まれている場合があります。）
(3) 給湯温度は、45℃以上、70℃以下の範囲でご使用ください。
※45℃以下では適温の洗浄シャワーが得られません。また、70℃以上では、故障の原因になります。

■給水（湯）管を切断したら

給水（湯）管を切断したら、必ず水洗いなどで切粉を完全に取り除いてから接続してください。
※故障の原因となることがあります。

■寒冷地について

このシャワートイレは、寒冷地仕様ではありません。
凍結の恐れがある場所(地域)では、使用しないでください。
※故障する恐れがあります。

⚠注意

給湯圧は必ず給水圧以下で接続してください。
※異常時にヤケドをする恐れがあります。

上水道以外は使用しないでください。
※機械の内部腐食により、故障の原因となります。

給湯管は高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないでください。
※ヤケドをする恐れがあります。

部品の確認（梱包内容を確認してください。）

各部の名称

ラベル
便フタ
シャワートイレ本体
給水(湯)止水栓
ノズル（シャワー用）
ノズル（チャーム用）
便座
給水(湯)管
操作部
便器

株式会社INAX
本社 ☎0569-35-2700　札幌支社 ☎011-271-1701　東北支社 ☎022-263-1710　東京支社 ☎03-5541-7111　西東京支社 ☎0425-27-3341
横浜支社 ☎045-242-1710　千葉支社 ☎043-227-8171　埼玉支社 ☎048-668-1177　東関東支社 ☎028-637-3379　関越支社 ☎0273-27-1793
甲信支社 ☎0263-36-2166　名古屋支社 ☎052-201-1717　静岡支社 ☎054-251-1710　北陸支社 ☎0762-64-1710　大阪支社 ☎06-539-3500
京滋支社 ☎075-222-1794　広島支社 ☎082-223-1710　四国支社 ☎0878-21-1701　福岡支社 ☎092-282-3151　南九州支社 ☎096-322-1794

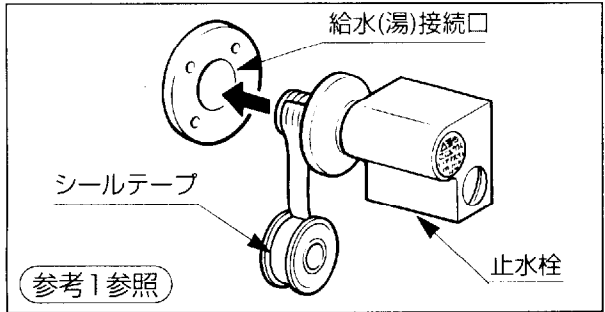
このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	● この施工説明書をよく読み、正しく本商品をお取り付けください。 ● 施工後は必ず試運転を行ってください。 ● お客様の方に必ず本書と取扱説明書・保証書・使用説明書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

施工方法

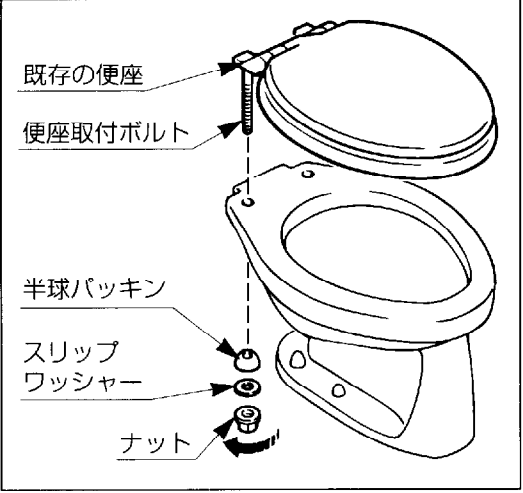
1 止水栓の取付け

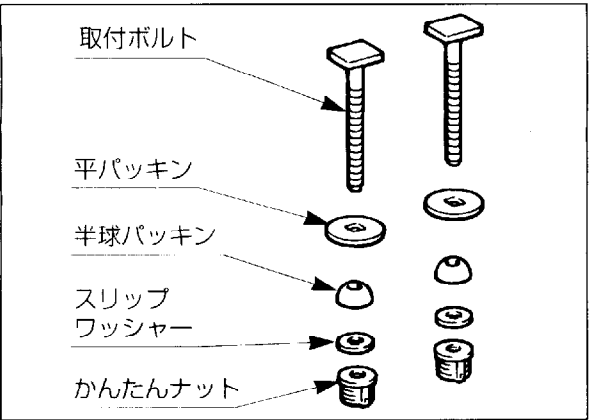
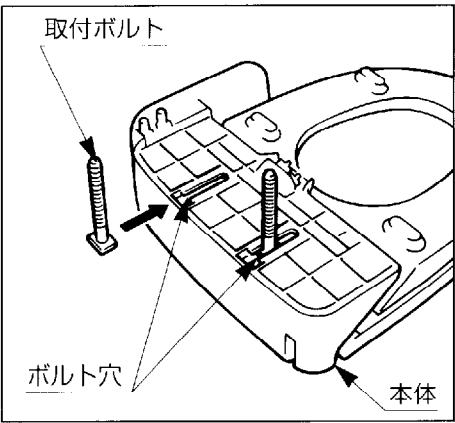
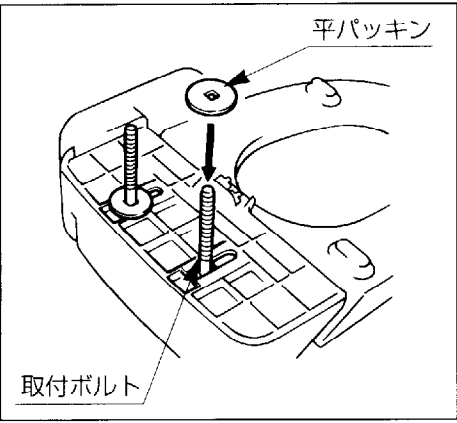
(1) 止水栓のねじ部に、シールテープ等のシール材を巻きます。

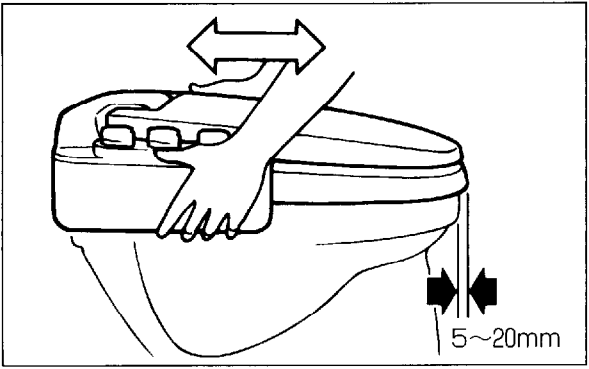
(2) 壁面の給水接続口および給湯接続口に、止水栓を取り付けます。 注意1参照

2 既存の便座の取外し

(1) 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外します。

(2) 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外します。

参考2参照

3 シャワートイレ本体の取付け

(1) 同梱の取付ボルトからかんたんナット、スリップワッシャー、半球パッキン、平パッキンを取り外します。

(2) 取付ボルトを本体底部のボルト穴にはめ込みます。

(3) 平パッキンを取付ボルトにはめ込みます。

(4) 便器の便座取付穴に取付ボルトを差し込んで本体を設置します。

(5) 便座の先端が便器の先端より5～20mm出るように前後の位置調節をします。

(6) 取付ボルトに半球パッキンとスリップワッシャーを通してかんたんナットを取り付け、本体がガタつかないよう確実に固定します。

シャワートイレ本体

平パッキン

便座取付穴

リム

(半球パッキンの向きに注意してください。球面部が上になります。)

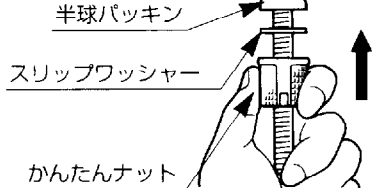
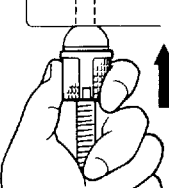
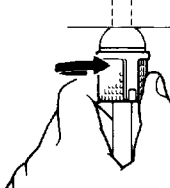
半球パッキン

スリップ
ワッシャー

かんたんナット

注意2参照

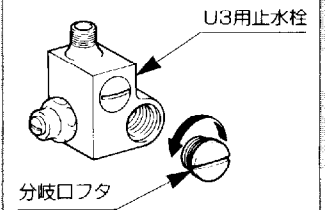
【かんたんナットの取付方法】

①取付けボルトに通します。

②上に押し込みます。

③手で回して締め付けます。

注意1

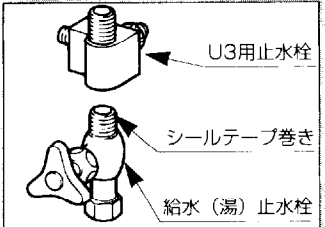
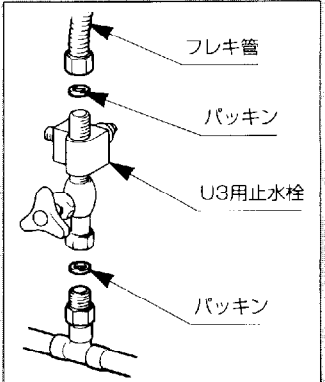
● ストレーナーメンテナンスのため、点検口から点検可能なところに止水栓を設置してください。
また、止水栓の操作とストレーナーの脱着が容易に行えることを確認してください。

参考1

給水(湯)接続口がない場合は、以下のようにして止水栓を取付けてください。

(1)止水栓のシールをはがし分岐口フタを外します。

(2)洗面器混合水栓の給水(湯)止水栓を閉めます。

(3)洗面器混合水栓の給水(湯)止水栓からフレキ管を外し、U3用止水栓を取り付けます。

※ ねじ部にシールテープ等のシール材を巻いてください。

(4)止水栓に給水(湯)フレキ管を接続します。

参考2

便器によっては、便座の取り外し方が説明と異なる場合があります。ご注意ください。

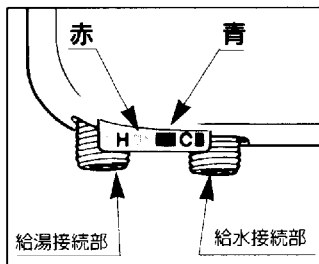
注意2

● かんたんナットや取付ボルトは樹脂製です。必ず手で締め付けてください。

● 半球パッキンは、球面部が陶器側ですので組付方向に注意してください。

● 便フタをあけたときに、便座から便器のリムが見えないようにしてください。

注意3

●給水接続部には青いマーク、給湯接続部には赤いマークが付いています。正しく接続してください。

●給水（湯）管は鋭角に曲げないでください。管がつぶれると水が通りにくくなります。

●給水（湯）管の切断には、必ずパイプカッターを使用してください。

●給水（湯）管の切断後は、切粉を水洗いなどで完全に取り除いてください。

注意4

●給水（湯）管はユニットの内部配管に干渉しないように設置してください。

注意5

●金属リングと樹脂リングの組付け順を間違えないでください。
逆組付けすると漏水します。

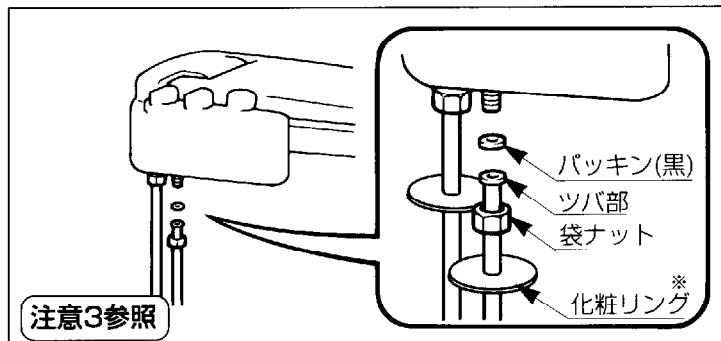
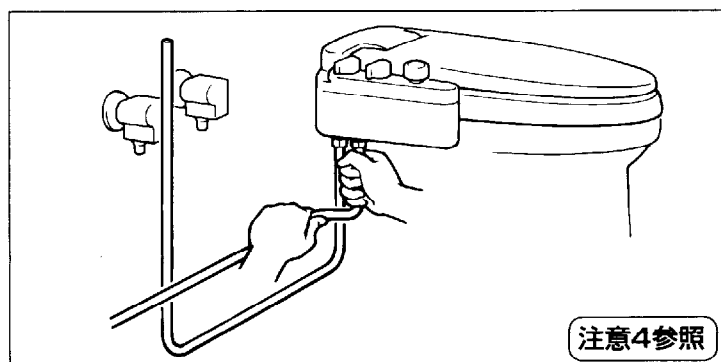
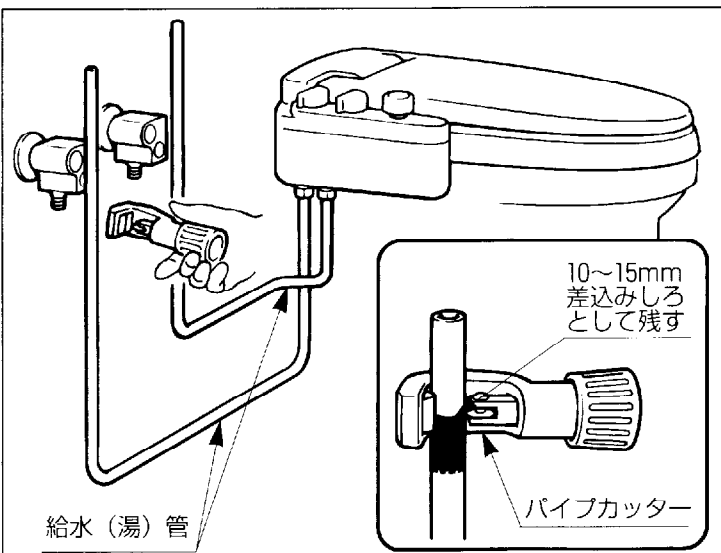
注意6

●化粧リングはエプロンの汚れを、きれいに拭きとってから貼ってください。

4 給水（湯）管の接続

(1) 本体の給水および給湯接続部から袋ナットとパッキンを外します。

(2) 給水（湯）管に（1）で外した袋ナットを通し、給水（湯）管のツバ側を本体の給水（湯）接続部に仮付けします。

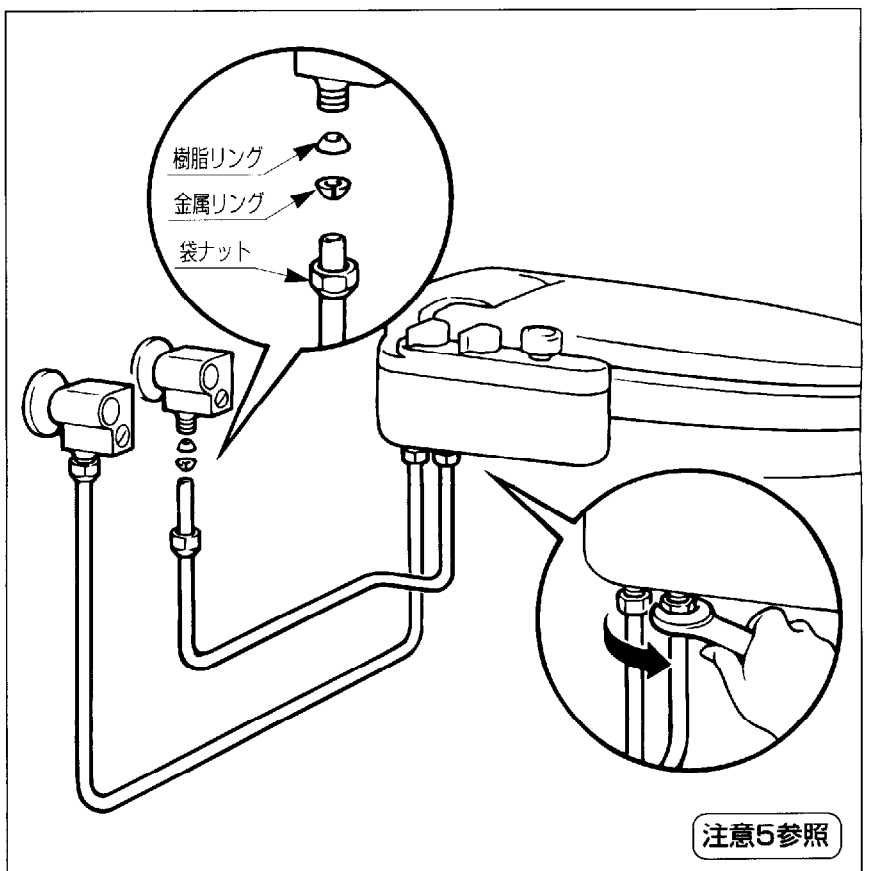
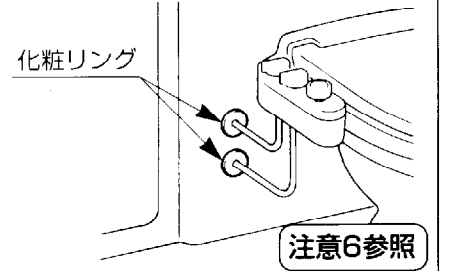
※ 給水（湯）管がユニットバスのエプロン等を貫通する場合は、付属の化粧リングも通しておきます。

(3) 給水（湯）管のツバがない側を止水栓の位置に合わせて、給水（湯）管をゆるやかに曲げます。

(4) 差込みしろとして10～15mm程度残して、給水（湯）管のツバがない側をパイプカッターで切断します。

警告

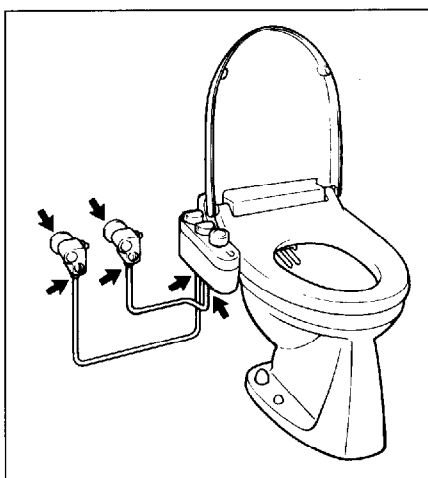
●給湯管に荷重を加えたり、衝撃を与えないでください。
※熱湯が噴出してヤケドの原因になります。

●給水（湯）管に無理な力がかかっていたり、物やお客様の身体によって荷重をかけやすい取付け方になっていると、お客様がけがやヤケドをしたり、故障・損害が発生する恐れがあります。

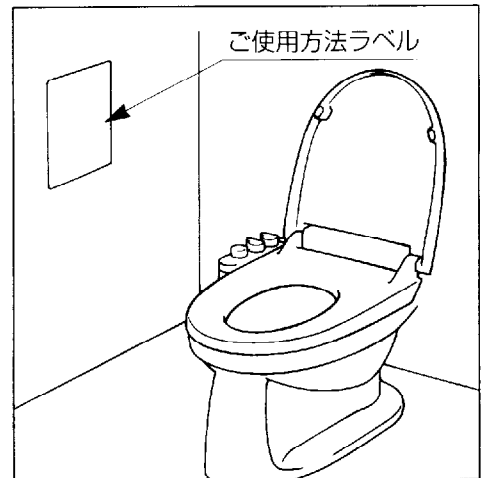
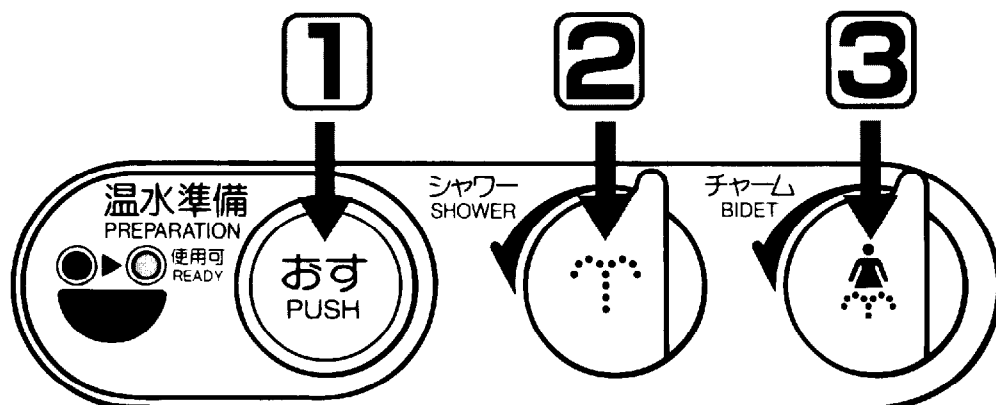
※お客様の使用場面を考慮した施工方法をとってください。

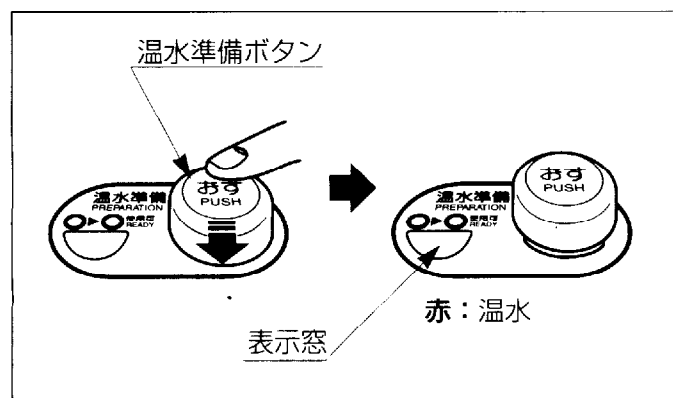
(5) 給水（湯）管のツバがない側に袋ナット・金属リングと樹脂リングを通して手で軽く締め付けます。（仮付け）

(6) 給水（湯）管に無理な力がかかっていないことを確認してから両方の袋ナットを締め付けます。

※ユニットバスのエプロン等を貫通する場合は付属の「化粧リングセット」を使用します。化粧リング裏側のシールをはがし、エプロンの貫通穴に貼り付けます。

5 漏水の確認

止水栓を開け、本体の給水（湯）接続部と止水栓から漏水がないことを確認します。

6 ご使用方法ラベルの貼付け

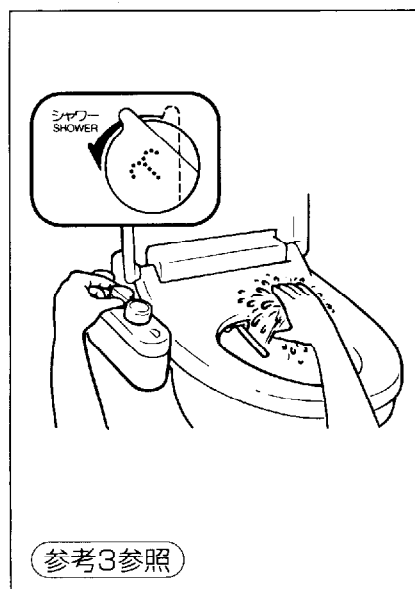
(1) 説明書セットの中からご使用方法ラベルを取り出します。

(2) お客様の要望を確認後、ご使用方法ラベルを貼ります。

試 運 転

1 準備操作の確認

(1) 温水準備ボタンを押して、温水準備ボタンが元の位置に戻り本体から便器内に給湯管内の冷水を排出することを確認します。
(2) 水が適温になると自動的に排水が止まります。表示窓が赤になりますので温水準備完了の目安としてください。

※水の排出を途中で止めたい場合は、温水準備ボタンを手で引き上げてください。

2 シャワー洗浄の確認

(1) シャワーダイアルを回してシャワーを出します。
本体からノズルが伸びてきたら先端に手をかざして洗浄水を受け止めます。
(2) シャワーが温かいことを確認します。
(3) シャワーダイアルの角度をかえて、洗浄水の強さがかわることを確認します。
(4) 確認終了後、シャワーダイアルから手を離します。
シャワーダイアルが元の位置に戻り、洗浄水が止まります。

(参考3参照)

3 チャーム洗浄の確認

チャームダイアルもシャワーダイアルと同じように確認します。

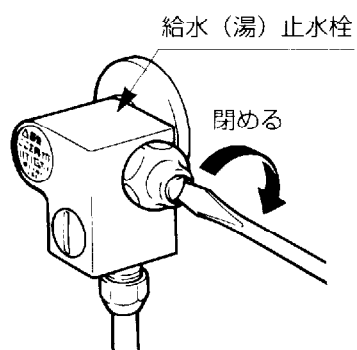
(参考3)
洗浄中、ノズル付近から少量の水が排出されますが、構造上必要なもので異常ではありません。

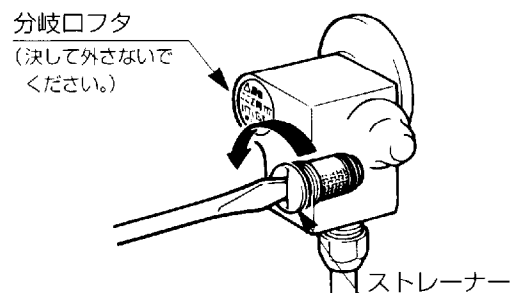
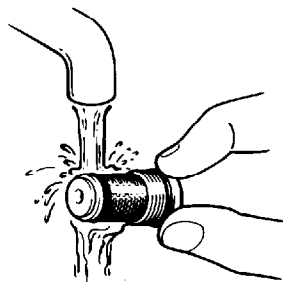
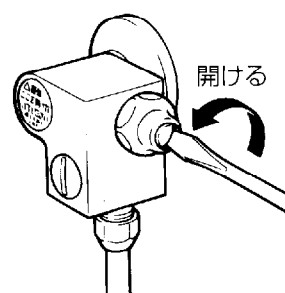
ストレーナーの掃除方法

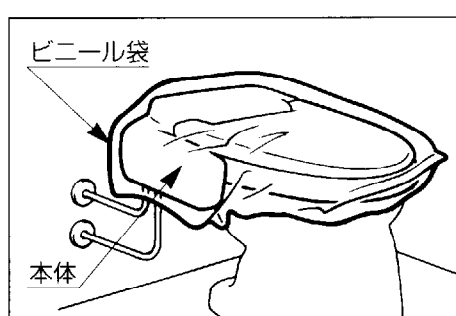
ストレーナーにゴミ等がつまると、適正な性能が得られなくなります。
ストレーナーを掃除する場合は、以下の手順で行ってください。

警告	止水栓の分岐口フタを、緩めたり外したりしないでください。 ※熱湯が噴出してヤケドをします。

警告	必ず止水栓を閉めて行ってください。 ※止水栓を閉めないと、熱湯が噴出してヤケドの原因になります。

1. 両方の止水栓をしっかり閉めます。

2. ストレーナーを回して外します。

※このとき少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

3. ストレーナーに付いているゴミを水洗いして取り除きます。

4. ストレーナーを確実に取り付け、止水栓を開きます。

施工完了後の確認

施工後、シャワートイレにキズが付いていないことを確認して、シャワートイレやユニット内を清掃してください。
また、ユニットバスの工事が完了するまで、キズが付かないように、梱包内のビニール袋を便座便フタ側から入れて、本体をカバーしておきます。

長期間使用しない場合

施工終了後、長期間使用しない場合は両方の止水栓をしっかりと閉めておいてください。